

北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所

記者発表資料

発表日時

令和6年10月10日

佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会による 小木港防災訓練を開催します

近年、気候変動の影響により、豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生している状況を踏まえ、陸路が寸断し孤立化した被災地に対して、緊急物資等の海上輸送を実施する場合に備え、国土交通省港湾局では、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応を行うため「命のみなとネットワーク」の形成に取り組んでいます。

このたび、北陸地方整備局が所有する大型浚渫兼油回収船「白山」により、新潟港から小木港へ緊急支援物資輸送を行う防災訓練を佐渡市と連携して行いますので、以下のとおりお知らせします。

今回の訓練想定は、小木港背後地区の避難所及び小型船舶に積み替えて孤立集落となった岩首地区の避難所へ支援物資輸送を行います。

- | | |
|---------|--|
| 1. 日 時 | 令和6年10月18日（金）10：15～11：55 |
| 2. 訓練会場 | 小木港（小木地区）北埠頭2号岸壁付近
新潟県佐渡市小木町1951（別紙1のとおり） |
| 3. 主催者 | 佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会 |
| 4. 訓練内容 | 別紙1のとおり |
| 5. 参加者 | 別紙1のとおり |
| 6. 取材申込 | 取材を希望される方は別紙4により申し込み願います。 |

※当日の天候や海象により中止する場合があります。

中止の場合には連絡しますので、事前の申し込みをお願い致します。

※訓練終了後の取材時間を12：15までとしますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

同時発表記者クラブ
新潟県政記者クラブ
新潟県政記者クラブ
専門紙

（問い合わせ先）
北陸地方整備局
新潟港湾・空港整備事務所
副所長 奥田、沿岸防災対策官 玉木
TEL：025-222-6111（直通）

○訓練内容

- (1) 開会 (10:15~)
- ・佐渡市 副市長 挨拶
 - ・北陸地方整備局 港湾空港部長 挨拶
- (2) 緊急支援物資輸送訓練 (10:25~)
- ・情報伝達訓練
 - ・支援物資輸送実動訓練
- (3) 閉会 [講評] (11:45~)

○参加者

佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会（【参考資料】＜参考3＞を参照）、
 小木港利用協議会、新潟県港湾空港建設協会

○訓練会場 小木港小木地区北埠頭2号岸壁付近



豊岡漁港(岩首地区)

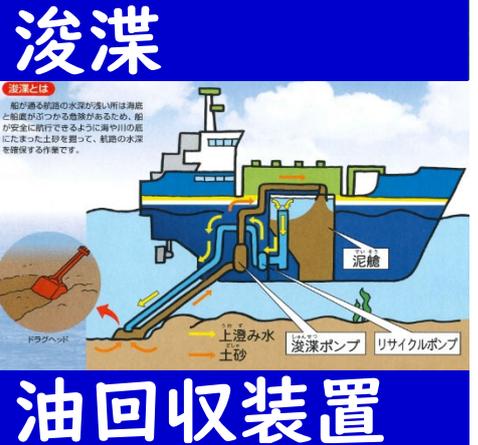


【参考資料】

＜参考 1＞大型浚渫兼油回収船「白山」について



「白山」は航行しながら浚渫または油回収を行う大型浚渫兼油回収船です。
平成9年1月に発生したロシアタンカー（ナホトカ号）の重油流出事故をきっかけに、流出事故の防除体制の強化が求められ、新潟西港にて稼働していた浚渫船「白山丸」の代替船として、「白山」が建造され、平成14年8月に新潟西港に配備されました。通常は、新潟港(西港区)において、浚渫作業を行っています。大量流出事故が発生した場合は、直ちに現場へ急行して油回収を行います。



【白山の諸元】 航行区域/沿海区域

- 全長/93.9m、幅17m、深さ/7.5m、満載喫水5.4m、総トン数/4,184t、航行速度/13.1kt
- 浚渫部：サド「ドラグ」式、浚渫ポンプ3,300m³/h×2台、泥倉容量1,380m³、浚渫深度/-7.5～-18m
- 油回収装置：舷側設置式（渦流式及び堰式各1台）500m³/h×2基、
投げ込み式（堰式油分濃縮型）/30m³/h×1基、回収油水槽容量1,530m³

物資輸送用設備

物資搭載用クレーン設置



多関節型
吊上重量980kg、回転半径12m

保管容器



使用時は船の甲板に設置
16個のBOX2段積み、総容量約40m³

燃料・清水の供給



(供給想定量：佐渡島の場合)
A重油：50,000リットル
清水：145,000リットル



東日本大震災時：人力による物資積み降ろし



迅速・大量輸送が可能

＜参考2＞「命のみなとネットワーク」について

「命のみなとネットワーク」について 別紙1 国土交通省

○近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
 ○陸路が寸断し孤立した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
 ○こうした状況を踏まえ、「みなと」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】
 2021年 千葉県での物資輸送（広島県中田港）

【被災者の救援輸送拠点】
 2023年8月大規模地震に被災した地域で住民輸送を実施（千葉県船橋港）

【生活支援拠点】
 2023年10月大規模地震に被災した地域で住民輸送を実施（千葉県船橋港）

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】
 “みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的の実施。
 R3年10月に浜名港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて～“みなと”を活用した災害支援事例集Ver1～の作成】
 “みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。

国土交通省HP

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowa_n_fr7_000103.html

＜参考3＞佐渡島「命のみなとネットワーク」推進協議会について

佐渡島内における「港湾・漁港」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを形成することを目的に令和5年3月27日に立ち上げ。

会 長：佐渡市長

副会長：新潟市長、聖籠町長

構成機関・団体

佐渡市、新潟市、聖籠町、新潟県、ウエルシアホールディングス(株)、
 コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、NPO法人コメリ災害対策センター、
 佐渡汽船(株)、生活協同組合コープデリにいがた、(株)ローソン、
 みなとオアシス佐渡両津運営協議会、(一財)危機管理教育&演習センター、
 国土交通省 北陸地方整備局、
 国土交通省 北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所

